



「負けてたまるか！」 歯をくいしばり踏んばる

町の力自慢が一堂に会した第5回町民綱引大会が12月6日、体育館で実力伯仲の13チームが参加して開催され、会場は応援団もくり出し熱気にあふれました。ベテラン組になると相手の呼吸をはかり、ここが勝負どころ、となると一気に引き寄せ、短い時間の中に白熱した対戦が展開されました。

人口と世帯数

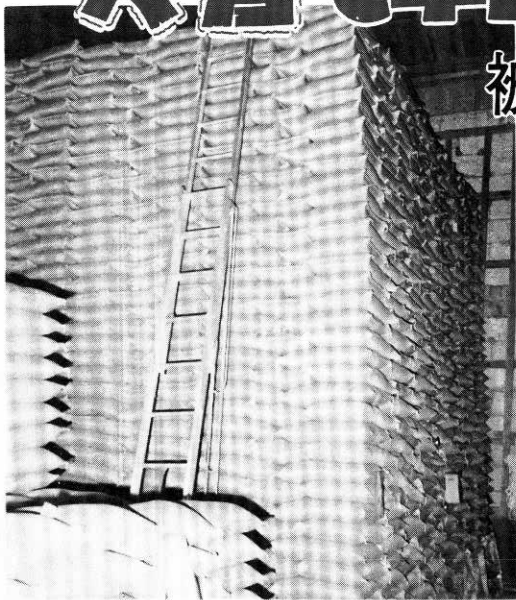
(住民基本台帳による)

11月30日現在	(前月比)
総人口 24,449人	(3人減)
男 11,914人	(2人増)
女 12,535人	(5人減)
(出生 19人 転入 47人)	
(死亡 18人 転出 51人)	
世帯数 7,294世帯	(増減なし)

集荷率85.8パーセント

冷害で早生種が大打撃！

被害額7億8千万円あまり



今年の稲作は七月二十二日から三十一日までオホーツク高気圧から吹き寄せる東風(やませ)で、減数分裂期を迎えていた早生種を中心に障害不稔や白粳が発生し当地方は作況指数「九〇」の著しい不良となり、昭和五十六年以来の不作で被害総額も七億八千万円に達しました。天候という不可抗力の要素が大きかったものの、兼業化、機械化などにより稲作に対する意識の低下も否めず、基本となる「土づくり」など、今回の教訓を今後に生かしたいものです。

「刈り取ったらあまりの悪さにびっくりして、腰をぬかしてしまっただけ」。今年の作柄は稲刈りが進むにつれ早生種を中心に減収、質の低下など深刻な事態となりました。

「うまい米」「売れる米」が叫ばれ、市場性の高い銘柄米の生産拡大と自主流通米比率の向上をめざし、当町でもあ

冷害となった今年の気象の特徴は、七月下旬の低温と八月中・下旬の連日の真夏日、九月中旬以降の気温差が少なかったことや、日照不足のため後期登熟が不良だったことなどにより、県全体で「九三」の作況指数となり県北は「九〇」の著しい不良(十月十五日現在)となり、五十六年以来七年ぶりの不作となりました。

稲作をふり返えると春先は天候に恵まれ、は種作業は順調でしたが田植終了後の五月下旬以降、曇雨天や日照不足と気温差が小さかったことにより、初期生育はやや停滞。六月の梅雨入り後はカラ梅雨気味で経過したため、七月中旬までに生育はやや回復したもの、七月二十日すぎから三十一日にかけて最低気温一七度以下という異常低温によって、幼穂形成期から減数分裂期にあつたアキヒカリを中心に障害不稔や白粳(ふ)が発生。特に八月十日以前に出穂した稲ほどその度合が大きく見られました。

気温は八月十日から二十七日まで十八日間も真夏日が続き、初期登熟も急速に進み、農家は「これでひと安心」とホッとしましたが、九月中・下旬の気温は夜と昼の差が小さく、加えて日照不足の影響から後期登熟は稲体が弱く、障害不稔の補償作用が進まず穂首が空を見上げたままとなりました。それでも九月十五日現在の作況指数九九「平年並み」と発表されたデータや「六十一年もこうであった。補償作用が進んでいるはず」という思惑から、農家のムード

は心配しながらも例年のごとく出来秋を迎えました。

一日中刈り取ってもモミはわずか……

被害は東北一円におよび、作況指数が一番悪かった宮城の「七五」を筆頭に、福島「七七」、青森「八六」となっており、秋田県全体では「九三」となりました。しかし地域格差が大きく、中でも県北が「九〇」となっています。当町でも地域、個人差が大きく、標高一二〇メートル前後に田んぼがある門ヶ沢は被害が顕著に現われた地区でした。

笹代安夫さん(五四)は作付面積の約六〇割にアキヒカリを側条施肥で植付け。好天で活着もよく生育は順調で、七月下旬の穂ばらみ期に低温を克服すべく、毎年行っていた中干しはしないで深水に心がけました。コンバインを入れた時、不安が的中。三〇畝のモミが入る乾燥機に五〇畝六〇畝と刈ってもいっばいにならず、検査米は「反当三俵ギリギリで、奇形米や着色米が多く全部規格外であった」と苦笑い。

笹代さんは、今回の教訓を

主要品種作付状況の推移

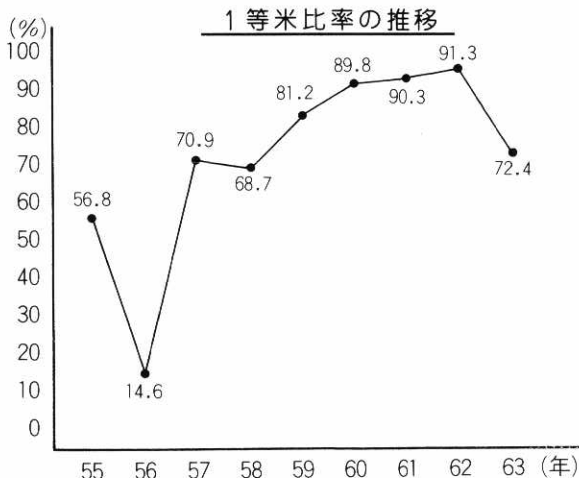
順位	昭和45		昭和50		昭和55		昭和56		昭和61		昭和62		昭和63	
	品 種	比率	品 種	比率	品 種	比率	品 種	比率	品 種	比率	品 種	比率	品 種	比率
1	ヨネシロ	62	トヨニシキ	52	キヨニシキ	64	キヨニシキ	41	アキヒカリ	51	アキヒカリ	46	キヨニシキ	36
2	トヨニシキ	14	キヨニシキ	38	トヨニシキ	20	アキユタカ	20	キヨニシキ	27	キヨニシキ	27	あきたこまち	31
3	レイメイ	13	ヨネシロ	3	アキヒカリ	9	アキヒカリ	19	あきたこまち	7	あきたこまち	15	アキヒカリ	23
4	さわにしき	3	レイメイ	3	アキユタカ	5	トヨニシキ	16	トヨニシキ	4	トヨニシキ	4	ササニシキ	4
5	フジミノリ	2	ハツニシキ	1	ササニシキ	2	ササニシキ	2	たかねみのり	2	ササニシキ	2	トヨニシキ	3
作況指数	—		115		81		78		105		97		90	

生かし「来年はアキヒカリはやめ、中晩生種に切り換え、基本技術を考え直してみたい」と抱負を語ってくれました。

冷害は二年連続してやってくる

冷害により収量、品質ともに大幅な減収となり一月三〇日現在で、限度数量一七九、八四六俵（六〇キ）に対して一五四、三一四俵の集荷状況で集荷率は八五・八割となっており、最終的には八五割台どまりと予想されています。被害額も七億八千万円におよび、冷害対策本部を中心に農家の救済対策を積極的に進めています。

冷害の過去の例を見ると、昭和二十八・三十九年、四十年・四十一年、五十五年・五十六年と二年連続でやってくるものが多く、来年は油断されません。冷害のたびに稲作の基本技術が問いたされますが、今後の対応として▼減収



分裂期における低温抵抗性の強い品種や、早中晩生品種の適正な組合せにより、危険分散をはかること ▼初期生育量を早期に確保するため、基肥効果を重点とした施肥体系の検討 ▼低温や高温の条件下でも稲体の活力を維持するため、有機物の施用や深耕などの「土づくり」の推進 ▼安定した登熟進行をはかるため、根の活力維持を考慮した水管理の徹底 ▼気象情報に応じた適確な生育予測診断による栽培技術指導などがあげられています。



町長

山川 日誌
山川 日誌

11月16日～30日

■17日(木) 秋田市において県知事と全県町村長との行政連絡会議が開かれた。主として来年度予算に対する町村会としての重要施策を要望し、県の考えかた等をたざした。

■18日(金) 青少年健全育成キャラバン隊が来庁し、激励のあいさつを述べた。

■19日(土) 鷹巣中学校創立三十周年記念式典に出席。昭和三十三年創立当時は、生徒数千五百余人というマ

ンモス中学校であった。現在は、出生者の減少による就学者減などで、統合当時の半数以下となっており。しかし、三十年の歩みは文武両面で着実に刻み込まれている。

■21日(月) 秋田県農業信用基金協会理事会、秋田内陸縦貫鉄道K・Kの取締役会に出席した。

■22日(火) 町役場を会場に、秋田財務事務所主催による財務行政懇話会が開催された。

■25日(金) 秋田市において全県町村長研修会があり出席した。

■25日(日) 第十九回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会東北地区予選が鷹巣体育館を主会場に各県の代表、男女二十四チームにより好試合が展開された。この大会は各県庁所在地以外で開催されたのは本町が初めてである。

■27日(日) 第三期山村振興農林漁業対策事業として工事中の、糠沢多目的集会施設(糠沢会館)が竣工し式典及び祝賀会を行った。

■28日(月) 30日(水) 東京都に出張。「全国町村長大会」「全国山村振興連盟大会」「高速交通体系整備促進中央集会」等の臨時総会に出席、併せて予算獲得等で国會議員及び政党、関係官庁に陳情をした。

広報たかのすから

町の一年間をふりかえる

広域交流センターの竣工、誘致企業秋田サンリッツの操業開始、全日本レディスアユツリ大会、東北中学校駅伝競走大会の開催など、町の活性化に結びつくイベントや事業が行われましたが、収穫の秋をむかえ、不穏障害による減収が予想以上のことから、町では冷害対策本部を設置し、農家救済に努力しております。「広報たかのす」から、みなさんと町の一年をふりかえてみたいと思います。

一月(睦月)

1日 ぱりじょつこは東軍が勝ち「家内安全」
元旦マラソンに四百人が参加
4日 御用始め、消防出初式
17日 全国都道府県対抗女子駅伝に、前田朋恵、中島ひとみ、千葉美也子の三選手が出場、力走をみせる



18日 田沢簡易水道が完成し喜びの竣工祝賀会
20日 薬師山スキー場にゲレンデ整備雪上車
31日 町民スキー大会、雪不足のためアルペンは中止

二月(如月)

6日 七日市地区「町長と語る会」
8日 栄地区「町長と語る会」
15日 23日 三月定例町議会議員改選を控え一カ月早く開会六十三年度予算を可決
20日 秋田内陸線に新車両、26日から営業運転開始

三月(弥生)

2日 葛黒火祭りかまくらが
3日 地域活性化フォーラムが開かれる
10日 鷹巣の女の歴史「鷹巣

町婦人会史」が出版
12日 七座地区「町長と語る会」
27日 町議会議員選挙、24人の新議員が決まる

四月(卯月)

5日 改選後初の臨時町議会新議長に今川氏を選出
23日 河田杯マラソン大会
24日 全町クリンアップ
25日 町植樹祭
27日 広域交流センターオープンする
29日 春の生存者叙勲で住吉町・奈良幸恵さんが勲五等瑞宝章、七日市・谷地田勝氏が黄綬褒章を受章
29日 中央公園桜まつりは期間中一万八千人の人出で賑わう



第8回 元旦マラソン

元旦の町内をみんなで走っていい汗流そう!!

- ◆集合 元旦午前9時30分(開会式…午前10時)
- ◆種目 チャレンジコース(4km)…スタート 10時30分
ファミリーコース(2km)…スタート 10時50分
- ◆申込 12月24日(土)まで役場・鈴木祐悦(☎62-1111 内線233)当日申込みも可としますが完走証に名前が記入されませんので事前に申込みください。

第五回社会福祉研修大会

『思いやりの輪を大きく』

「共に生きる地域社会をめざして」をテーマに十二月五日、第五回鷹巣町社会福祉研修大会が広域交流センターで開催され、約二百人が参加して、高齢化社会を支える地域づくり、在宅福祉などについて体験発表や講演をとおして理解を深めました。

人口の急激な高齢化や核家族化など社会情勢の変化に伴い、地域で援護を必要として

本日は鷹巣町社会福祉研修大会
吉野分校とも連携し、
民生児童委員活動のつづき
介護者の立場から



講演では高齢化問題など、多くの示唆を与えた

いる人々が年々増え続けております。五回目を迎えた研修会には民生児童委員、ボランティア、婦人団体など日頃地域福祉活動に尽力されている方々で会場は埋まりました。実践活動をおとした体験発表では、南小学校五年佐藤幸恵子さんが『吉野分校生とお友達になつて』として、「南小と交流を続けている吉野分校の子供たちが、不自由な体に負けないで人に頼らず、明るく自分でがんばろうとする姿に心を打たれた。他人にやさしくすることは、自分にとっても、とてもうれしい気持ちになり、どんな時でもくじけないで生きぬくことの大事さを知った」と、思いやりの心を述べました。

民生児童委員の沢田ミヨさんは『民生児童委員活動とネットワークについて』と題し、「担当区域には、様々な事情の方がおりますが巡回して話しを聞くと、それぞれ年輪を感じ胸を打たれます。寝たきり老人の入浴サービスの時に「さっぱりしたでしよう」と声をかけたら、涙を流し感謝する姿になんとも言われぬ哀れさがこみ上げ、手を握って一緒に泣いてしまった。いろいろな問題につき当りながらも町内の人たちの協力によりこれからも福祉の心を広げたい」と涙ながらに発表。

『介護者の立場から』として綴子大畑小笠原貞治さん（代読）は、倒れた妻への八年間の介護をふりかえり「昼夜の別なく苦しむ姿と、寝不足、心労の苦痛は終生忘れることができない。自分でも持病があり入院しながらの介護となつたこともあり、泣きたい毎日であった。それでも不自由

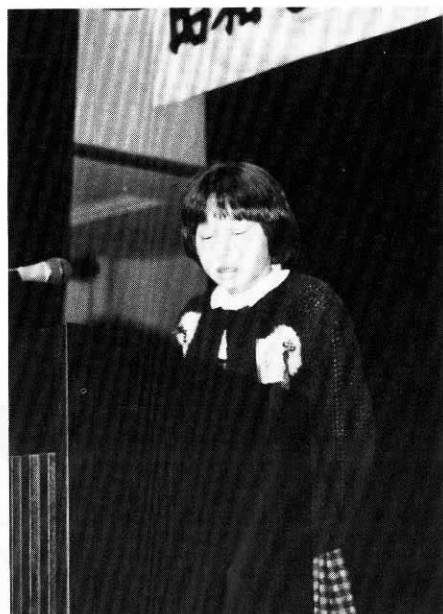
な手で編物などする姿に、母さん気長にやれよ」と声をかけ、自分自身も健康管理に気を付け、自助努力を惜しまずがんばりたい」と結びました。

福祉活動を支えてきた個人・団体を表彰

▽ボランティアⅡ長スミ（南鷹巣） 山口彰（あけぼの町）
▽社会福祉関係Ⅱ日景フミ（太田） 戸島峯松（坊沢）
宮野武司（綴子下町） 長岐トメ（七日市） 津谷トミ（元町） 小野裕子（東横町）
高橋タミエ（南鷹巣） 簾内チエ（今泉） 成田盛子（太田） 柳谷ワカ子（摩当）
高橋キミ（綴子） 佐藤トミ

エ（掛泥） 宮野シギエ（綴子） 佐藤ケイ（脇神） 戸島和子（坊沢） 成田ヌイ（米代町） 石川ヤエ（元町） 中島マサエ（川口） 津谷とみ（大野尻） 松尾ヨシ（住吉町） 桜庭アキ（元町） 城口健治（坊沢） 三沢フツ（大堤）

▽児童福祉関係職員Ⅱ岩本綾子（七日市保育園）
▽在宅介護功労者（介護十年以上）Ⅱ小林紀子（元町） 畠佐々木金之丞（東横町） 畠山キクエ（三ノ渡） 津谷栄子（坊沢） 長谷川幸子（太田）
▽福祉事業功労Ⅱ鷹巣町婦人ボランティア（代表佐藤繁子） 鷹巣町円ボランティア（代表花田和） 鷹巣町和太鼓保存会・鼓道（代表今立明）



「どんな時でもくじけないで…」体験発表する南小・佐藤幸恵子さん

豪雪が予想されています

冬将軍にそなえ準備万全

路上駐車はやめて！



いよいよ本格的な冬を迎えようとしています。町では厳しい冬将軍の到来に備え、冬季間の交通を確保し、住民生活と経済を守るため除雪作業打合せ会を開催するなど、ことしも除雪対策に万全を期することになりました。町民のみなさんも作業がスムーズに行われるようご協力をお願いします。

雪との戦いは北国の宿命ともいわれますが、町では豪雪から交通を守るため出動体制を確認し、安全で能率的に作業を進めるようにしています。今年の除雪計画によりますと、総延長は一九八キロにもお

よび、除雪車は町の直営十二台と町内業者より三十台を借りあげ除雪にあたります。除雪は積雪十センチ以上になった場合またはなると予想される時、午前三時には出動してみなさんの生活に支障のないように作業を進めます。

みなさんをお願い

町では交通確保のために全力で除雪にあたりますが、降雪量が多くなると除雪のトラブルがたびたびおこります。みなさんが出勤や登校する前に除雪ができるよう、各家庭や地域で次のことを守ってください。ようお願いいたします。

- 路上駐車は除雪で一番の妨げになりますので絶対しないでください。
- 道路に宅地内の雪を押し出したり、投げないでください。
- 車道から歩道にわたるスロープは、除雪の障害となりま

すのでいまのうちに撤去してください。

□道路に直接雪が落ちるような屋根は非常に危険です。雪止などで落ちないようにしてください。

□路上にはみ出している樹木の枝は切り落してください。□屋根の雪や宅地内の雪の処理は、指定された雪捨て場に捨てるようにしてください。

電線に注意して雪おろしを

雪おろしなどによる電線や電話線の切断事故が多くなりますので、十分注意してください。切れた電線には絶対手を触れないで次へご連絡ください。

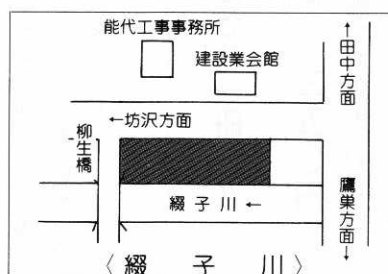
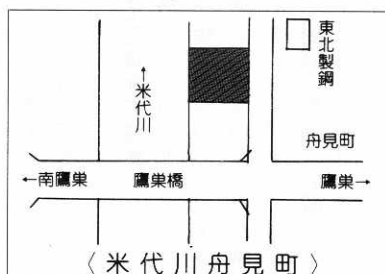
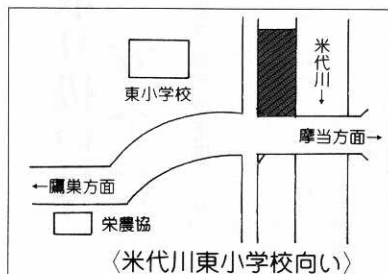
□東北電力鷹巣出張所（☎六二一一三八）

通行止め区間

- ▽四渡～坊山線
- ▽坊山～湯ノ岱線
- ▽松原～岩谷線
- ▽中屋敷～大野岱線

除雪の問い合わせは建設課 監理係（☎六二一一一一一内線二八一、二八二）へ

雪捨て指定場所



寒い日は、水道管

凍結に注意!!



朝夕の冷え込みが一段と厳しくなり、水道管凍結事故も多くなります。お宅の水道管は大丈夫ですか、もう一度確かめてみましょう。

水道管は、気温がマイナス四度以下になると気象状況によって管が凍ったり、破裂したりします。ちょっとした気配りで、未然に防止することが出来ます。

水道の凍結予防は

▼水道管の保温が先決＝水道管や蛇口に保温材を巻くか、毛布や布などを利用して巻き、その上からビニールテープなどで、保温材が漏れないように包んでいただくことです。

▼水抜栓を完全に下げる＝水は温度が下がると日中でも凍結することがあります。冬期間の水道管の凍結防止には、

水抜栓（凍り止め）の操作を常に心がけることです。水抜栓の操作で肝心なことは、蛇口をいっぱいに開け、栓のハンドルを完全に止まるまで回してください。

水道管の凍結は

保温材を取り外し、蛇口や水道管にタオルを巻き、その上からぬるま湯をゆっくりかけて解かします。解けたら再び保温材で防寒しておくことが大切です。

また、熱湯や熱風による急激な解氷は、水道管の破裂や破損のもとになりますから注意してください。

※水道管の破裂や解氷のときには、次のところへ連絡（依頼）をしてください。

▼水道課 ☎62-1111
浄水場 ☎62-13490

▼（指定工事店）

柴田水道 ☎62-19706
成田施設 ☎62-12870
大坂ポンプ ☎62-1093
和田ポンプ ☎62-2459
中島施設 ☎62-1779
藤島ポンプ ☎62-1086
日通プロパン ☎63-1037
土佐設備 ☎62-3650

水抜栓は正常ですか

確認方法は、水抜栓を全開し、次に蛇口を全開すると同時に、蛇口の先端に手のひらを当ててみるか、または水の入ったコップを蛇口にふさいで、吸い込みがあれば正常です。また、この操作時に水抜栓により、排水音が発生しておれば正常です。

こんなときはお届けを

次のようなときは、必ず事前に水道課の窓口で手続きをしましょう（印鑑を忘れずに）
▼家を新築するとき ▼家をこわして、水道を廃止するとき
▼引越するとき ▼水道の所有者、使用者が変わるとき
▼長い間、水道を使用しないとき（☎62-1111 内線 二七二）

石油ストーブの取り扱い 正しく、安全に

石油ストーブは手軽に暖をとれる反面、取り扱いを間違えると恐ろしい火事のもとになります。

日ごろの取り扱いには、次の点に十分気をつけてください。

■給油するときの注意

▼必ず火を消してください。火をつけたまま給油し、万一こぼれると、石油ストーブが高温になっているためこぼれた灯油に着火する危険があります。また、給油中はその場を離れないようにしてください。

■そのほかの注意

▼最新の石油ストーブには安全装置がついています。故障していないかどうか確かめましょう。また、なるべく耐震自動消火装置付きのストーブを使用してください。

▼ストープには灯油を使用してください。間違つてガソリンなどを使用すると火事のもとになります。

▼使用する前には説明書をよく読み、器具の特性に合った使用をしてください。

あなたのポケットにぜひ一冊を!!
一九八九年用

秋田県民手帳 (三五〇円)

役場・企画調整課でお求めください。

おしらせ

農業委員の選挙
人名簿を確認

鷹巣町選挙管理委員会では農業委員の選挙人名簿を作成しておりますが、毎年一月一日現在で皆さんの申請に基づいて、名簿を調整することになっております。

選挙人名簿確認のため、各農家に名簿登載申請書が配布されますので、次の条件を満たす方は選挙権がありますから記入をお願いします。

ただし昭和六十四年一月一日現在で記入してください。
▽年齢が満二十歳以上の者
▽田、畑の合計が十ア以上の農地を耕作している者
▽耕作している者の同居親族またはその配偶者で、年間六十日以上耕作に従事していると農業委員会が認めた者

水田耕作面積
の移動届

六十四年度の水田耕作面積を把握するため、昨年中に売買、賃貸借などにより、水田面積に移動がある方は、一月二十日（期限厳守）まで、農林課農政係または各地区の農協へ届出ください。

※期限がすぎたから提出されますと、一切の算定が六十四年度に計算されますので早めに提出してください。

工業統計調査に
ご協力ください

工業統計調査は、昭和六十四年十二月三十一日現在で食料品、繊維、機械などの製造業を営む事業所の製造活動の現況を調査するものです。

今月下旬から調査員が、調査票の記入をお願いに伺いますのでご協力ください。

年末・年始
役場の仕事

年末・年始の役場関係の事務は、十二月二十九日から来年度の三日まで休みとなります。

なお、次の課は日程どおり事務を取扱います。

◆町民課戸籍係Ⅱ戸籍関係、印鑑証明などの事務

▽日程Ⅱ29日・30日（二日間とも午前八時三十分～正午）

◆税務課徴収係Ⅱ税金納付などの事務

▽日程Ⅱ29日・30日（午前八時三十分～五時） 31日（午前八時三十分～正午）

年末・年始
のゴミ収集

ゴミ収集は、十二月三十日まで日程どおり収集します。

年末・年始は、十二月三十一日から来年三日まで休みますので、各家庭では計画的に整理し、休み期間中はゴミを出さないようご協力をお願いします。

一月十六日（振替休日）は平常どおり収集します。

糠沢町営ゴミ埋立地は冬期間（一月～三月）閉鎖します。この期間は、藤株方面の徳左エ門谷地町営ゴミ埋立地（一日～三日まで休み）へ運搬してください。

冬期間は、除雪車の運行の妨げにならないよう除雪後にゴミを出すようお願いします。

夜間当番医（夜間診療）の日程表

（午後6時30分～9時）

12月	曜日	医療機関名
16	金	近藤医院
17	土	奈良医院
18	日	佐藤外科消化器科医院
19	月	佐々木産婦人科医院
20	火	藤原医院
21	水	戸嶋医院
22	木	盛岡外科医院
23	金	戸嶋産婦人科医院
24	土	近藤医院
25	日	北秋中央病院
26	月	奈良医院
27	火	佐藤外科消化器科医院
28	水	藤原医院
29	木	佐々木産婦人科医院
30	金	盛岡外科医院
31	土	戸嶋医院

急患以外は受けません。

みんなで防犯明るい社会

年末年始の防犯運動

12月11日～1月3日

年末年始は犯罪や事故が多くなります。明るい正月を迎えられるよう、みんなで注意しましょう。

重点

- 自動車盗難の防止
- 悪質商法の被害防止
- 少年非行の防止
- 暴力の追放運動

地域みなさんと こころよい汗を

各地区でスポーツ教室開催



昨年の坊沢地区スポーツ教室

教育委員会では、運動不足になりがちな冬季節にスポーツ教室を開設して、快い汗を流してもらおうと、各地区ごとに計画いたしました。

昨年開催された同教室は、各地区から大変好評を得て終了しましたが、ことしも地区の公民館を中心に、体育指導委員が企画段階から参加してみなさんが参加しやすいプログラムを用意しております。子供さんから、おじいさんおばあさんまで、家族そろってご参加ください。

時間はいずれの会場も、午後六時三十分から八時三十分

までです。運動できる服装（ズック持参）でおいでください。八割以上出席された方には、最終回に終了証を差しあげます。

〔沢口地区〕 沢口林業センター
▽期日 十二月十二日、二十一日、一月九日、十七日、二十三日、二月二日、八日、十六日、二十四日、三月六日
▽内容 卓球、バドミントン、スキー、バレーボール、軽スポーツなど

〔栄地区〕 東小体育館
期日 十二月十三日、二十日、二十七日、一月十日、十七日、二十四日、三十一日、二月七

日、十四日、三月七日
▽内容 ジャズダンス、体力測定、綱ひきなど

〔坊沢地区〕 西小体育館
▽十二月十四日、二十一日、一月十一日、十八日、二十五日、二月一日、八日、十五日、二十二日、三月一日
▽内容 バドミントン、ドッジボール、ポートボール、グラランドゴルフ、インディアアカ、ソフトボレー、リングカントリ（七日市地区）
▽十二月二十日（南小）、一月八日（センター）、十七日（竜小）、三十一日（同）、二月七日（南小）、十四日（同）、二十一日（同）、二十六日（竜小）、二十八日（南小）、三月七日（同）
▽内容 ゲートボール、ジャズダンス、スキー、バドミントン、体力測定、卓球、トラポリン

〔綴子地区〕 糠沢健康増進センター
▽期日 一月十二日、十九日、二十六日、二月二日、九日、十六日、二十三日、三月二日、九日、十六日
▽内容 ジャズダンス、バドミントン、護身術、太極拳、ポートボール、グラランドゴルフ、バレーボール、ユニホック
※七座地区も計画中です。

ふるさと 人物伝

まつ お くま じ
松尾 熊治

一八八二—一九三〇

大正から昭和初期の頃、北秋田郡教育会の最高幹部の中に松尾熊治校長がいた。頭がよくて、勉強家で、倫理、哲学を専攻しているだけあって、ものの考え方に筋が通り弁舌さわやかであった。

熊治は明治十五年、七座村小繫、中村惣七の次男（兄直治は村長となる）に生まれる。彼は、小学校卒業してぶらぶらしていたが、



中学に進んだ同年の友達のさっそうとした姿を見て、

これではならずと、師範学校に入った。と語っていたという。栄村太田の松尾家の養子になり、秋田師範

本科を卒業したのが明治三十八年、鷹巣小学校に首席訓導として着任、数年後学校長として山田小、七日市

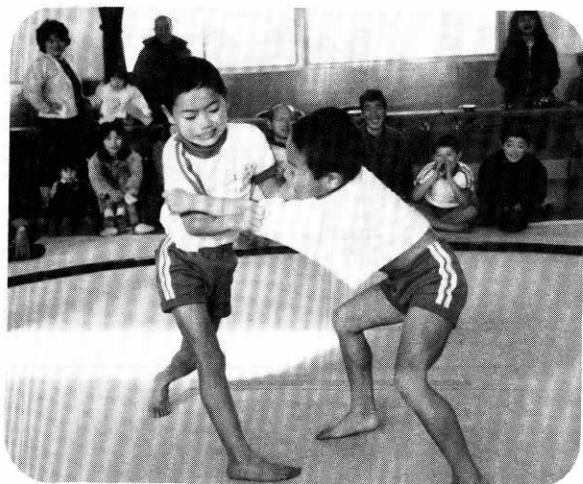
小、米内沢小、木戸石小などを歴任、大変難しかった文検（中等教員試験）に合格、大正十四年、能代中学校（現能代高校）の倫理学担任教諭となる。然し翌年

養父の死のため郷里に帰らねばならず、綴子小学校校長となり、昭和五年には阿仁合小に転任、一学期の終わった七月、狭心症のため急逝される。四十八歳。

米内沢、綴子で同職された渡辺俊男氏（田代町）は「松尾校長は部下職員の個性を尊重し長所を生かす人で、私が使われた何人かの校長の中で最高の人物であった」と語ってくれた。

資料（渡辺俊男、二階堂善三、孫松尾健正氏談）

文責 長崎 久



寒さを吹き飛ばした相撲大会

11月27日、11回目を迎えた沢口地域子供会相撲大会が沢口林業センターで行われ、約150人の参加者で会場は熱気につつまれました。男子は個人戦と団体戦、女子は片足相撲と、友達や父母の盛んな応援に大ハッスル。ミシャツ投げ、ミ足とり、と子供ならではの決まり手に大歓声。団体戦では四渡・坊山連合チームが初優勝しました。

第6回町公民館活動研究大会・生涯学習発表会が12月4日中央公民館で開かれ、関係者約250人が「豊かな生活を楽しむ、生涯学習のあり方を考える」をテーマに、パネルディスカッションや体験発表、講演をとおして理解を深めました。学習発表会では綴子下町子供会の奴踊りやヨガ講座など、日頃の成果を披露しておりました。

生涯教育に理解を深める



宝クジに花が咲く

(財)自治総合センターでは、地域のコミュニティ活動に役立ててほしいと、宝クジの資金を利用した各種の事業を進めておりますが、緑化推進助成事業として百万円が交付になり、広域交流センターよりのJR線側に、ツツジ132本、サツキ

300本を植えました。桜なども植えられており来春には、色とりどりの花が楽しめます。



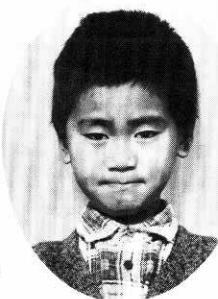
糠沢部落待望の会館が完成し、11月27日住民こぞって竣工式を行いました。会館は寺小屋、分教

所など地域教育の場、であった跡地に、第三期山村振興対策事業で総面積215平方メートル、2,600万円で作成したものです。明るい調理室や集会室に集まった婦人たちは「料理講習や踊りの練習が思いっきりできる」と大喜びでした。

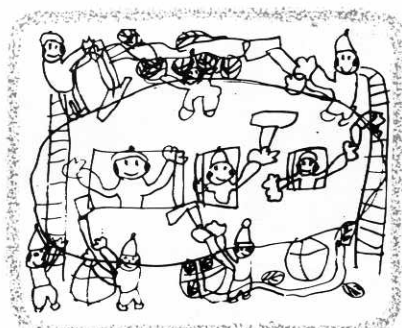
会館の完成を祝う



の広場



西幼稚園
ながさき まなぶちゃん(六歳)



は、ずかしい話ですが、私は学生時代から最近まで、ほとんど本を読む習慣がありませんでした。
しかし、ここ二、三年文庫本等を一回まとめて買って読んでいます。
年齢のせいもあり、ほと



七日市大畑 畠山 周吉さん(39歳)

乱読に挑戦

今月のテーマ「読書について」

んど頭に残りませんが、それでもたまに子供から質問されたとき、「あつ」その事はあるの本に書いてあったなどと思出し本棚をさがし、目ざす本を取り出し喜びに浸ります。そんなとき、たとえ乱読でも本を読む大切さを感じます。
これからも喜びの機会を増やすべく、乱読に挑戦していきたいと思っています。
読書の効用については、いろいろ取りあげられています。が、子供たちの豊かな発想を育くむため、単に無理強いす

対談 わたしたちの意見



だいふくちょう 大福帳
なよせちょう 名寄帳

(昔の商家で使用した帳簿)

商家で売買した貸し帳簿で、明治38年、39年正月使用の、厩カネ吉屋号の三日田吉五郎さんの帳簿です。大福帳は日々ごとの貸しの記帳を筆書きし、名寄帳は、これを名簿毎に整理したものです。

(松葉町・佐藤 富雄さん)



春の全国選抜大会、夏のインターハイ、秋に行われた京都国体で、団体優勝を決め、初の三冠を達成することが出来ました。
全国選抜大会では、男女そろって初のアベック優勝、インターハイでは、個人で三年連続優勝を目指しましたが、残念ながら二位でした。その悔しさを団体戦にぶつけ、三年生四人で二年連続団体優勝しました。
京都国体では、「この大会で優勝すれば、初の三冠」

合川高校三年・小坂 博さん

フエンシング競技で三冠を達成

わたしの自慢

この事が私たちにプレッシャーとなったのか、思うように体が動かず苦戦が続きました。しかし、今までの練習の成果が見事な集中力となって、しだいに体が動くようになり、決勝に進むことができました。決勝戦は、昨年優勝の群馬と対戦し勝ちとったものです。
三冠を達成したことは、私たちだけの力だけではありません。監督、コーチ、部員、両親、そして私たちの応援があってこそできたと思います。
私の夢は、大学を卒業したら鷹巣でフエンシングを普及させ指導者になれたらと思っています。
これから、後輩の指導、世界ジュニア選手権の代表になれるようがんばりたいと思っています。



西幼稚園
さわた あさみちゃん(六歳)



みんな



南小学校 5年
千葉 誠子さん

図書委員になって

るのではなく、本に自然に親しむ素地をつくって行きたいものだとも考える、この頃です。

「図書委員になりたいな」

これがわたしの四年生のときからの願いでした。本をラベルごとに整とんしたり、全校のみんなに本を貸し出したりする仕事をしなかったのです。

五年生になり、念願の図書委員になることができたとき

本報のじり

お歳暮

もともとお歳暮は、親や

仕事上の親方など目上の人の健康を祝福するために、米やもち、魚などを携えて出向いたことから起こった風習のようです。今も、「親の膳」などといって、正月や盆に魚をそえた膳を親元に持参するところがあるそうです。そのあ

は、うれしさと共にがんばるぞという気持ちでいっぱいでした。カウンターの仕事をしたり本の整とんをしたりと毎日の活動をやっていっているうちに自分としても、たくさん本と出会うことができました。

「キリスト」「野口英世」などの伝記、「からだのつくり」などの科学の本、たくさんのお物語、きれいな絵本などいろいろな種類の本を読むことができました。

もうすぐ、前期の委員会活動が終わりになります。自分のやりたかった仕事ができただけではなく、たくさん本を読み、読書がすきになりました。これからもいろんな本を読みたいと思っています。

と目上の人からお返しをするのが普通とされています。

時期的には、十二月の二十日から一週間ぐらいの間が一般的です。

最近では、商品券などがかなり出回っているようですけれども、まだまだ現物が多いようです。

ところで、年末年始は、一年のうちでも最もあわただしい時期です。運転には十分注意しましょう。

昭和34年にライオンズの森から見た森林軌道である。この軌道は七日市方面から木材、石炭などを運搬したが、奥部の人にとっては「生活の足、でもあった。鷹巣の祭典では客車にスシ詰めになってくり出したものだが、昭和42年に47年間にわたる歴史を閉じた。



たかのすの昔

あしらせ



一線美術会運営委員 九島家二氏

十二月の健康相談

十二月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は二十一日です。時間は午前十時から午後三時までです。

血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、動脈硬化予防について行います。

場所は中央公民館保健相談室です。

四力月児健康診査は二十日です。

対象は六十三年八月生まれのお子さんです。小児ガンの早期発見の検査もしますので必ず受診してください。受付時間は午後一時から一時三十分までです。

離乳食指導と七力月児健康相談は二十日です。

対象は六十三年五月生まれのお子さんです。受付時間は午前九時三十分から十時まで母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。※場所はいつでも鷹巣保健所です。

入浴指導と育児相談は二十二日です。

入浴指導は新生児のお風呂の入れ方など、時間は午前十一時からです。育児相談は午後一時から三時までです。場所は中央公民館保健相談室です。

麻疹(はしか)の臨時予防接種

町では麻疹(はしか)の大流行未然防止のため、臨時予防接種を行います。

接種希望の方は母子健康手帳持参のうえ、役場保健課へおいでください。

期間は十二月から来年の二月までです。

生き生き健康教室

町では冬期成人病予防教室「生き生き健康教室」を五回コースで開催しております。

第二回講演会は次の日程です。多数ご参加ください。

▽日時 十二月二十六日(月) 演題 動脈硬化予防の生活(講師・盛岡敬二医師)

善意

▽鷹巣地区婦人会(会長・中島喜代)から五千元

町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

固定資産税四期の納期限は十二月二十六日です

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽松葉町 佐藤清さんから亡父由蔵さんの香典返し

▽あけぼの町 相馬強二さんから亡母タエさんの香典返し

▽綴子大畑 畠山辰雄さんから亡母ミ子さんの香典返し

▽坊沢上町 武藤琴子さんから亡父文夫さんの香典返し

▽材木町 佐藤貢さんから亡母ヨシエさんの香典返し

▽材木町 岩淵則文さんから亡父訥蔵さんの香典返し

▽綴子下町 藤島直一さんから亡母ツルさんの香典返し

▽葛黒 堀部博志さんから亡父佐助さんの香典返し

▽糠沢 庄司繁さんから亡父武治さんの香典返し

▽住吉町 沢田金弘さんから亡父富治さんの香典返し



11月16日～11月30日

■誕生おめでとうございます

五代儀 望(光廣) 二女南鷹巢

長岐 康永(一) 二男中畑

畠山千絵子 敏彦 二女新田中

遠藤 立宜(元博) 二男深関

米澤 透(将剛) 長男糠沢

工藤 慎一(正博) 長男東横町

野呂 朋孝(進) 二男大堤

村上 真喜英喜 二女材木町

佐藤奈々恵 勝哉 長女吉ヶ沢

亀山 彩香(祐悦) 長女田沢

小松 勇輝(浩文) 長男住吉町

■二人の前途を祝福いたします

工藤 守仁 南鷹巢

堀内 美由紀 綴子上町

成田 有希 緑ヶ丘

長崎 育子 坊沢上町

畠山 仁志 舟場

成田 由美子 材木町

千葉 光夫 前野

芳賀 たきこ 大館市

畠山 美知夫 向黒沢

畠山 千年 舟場

おくやみ申しあげます

奈良 ミナ(79歳) 元町

堀部 佐助(74歳) 葛黒

九島 清造(76歳) 新田中

佐藤 チメ(78歳) 旭町

畠山安太郎(78歳) 材木町

藤原與吉郎(68歳) 下舟木

若松カツエ(67歳) 松葉町

長岐 ヤス(81歳) 中畑